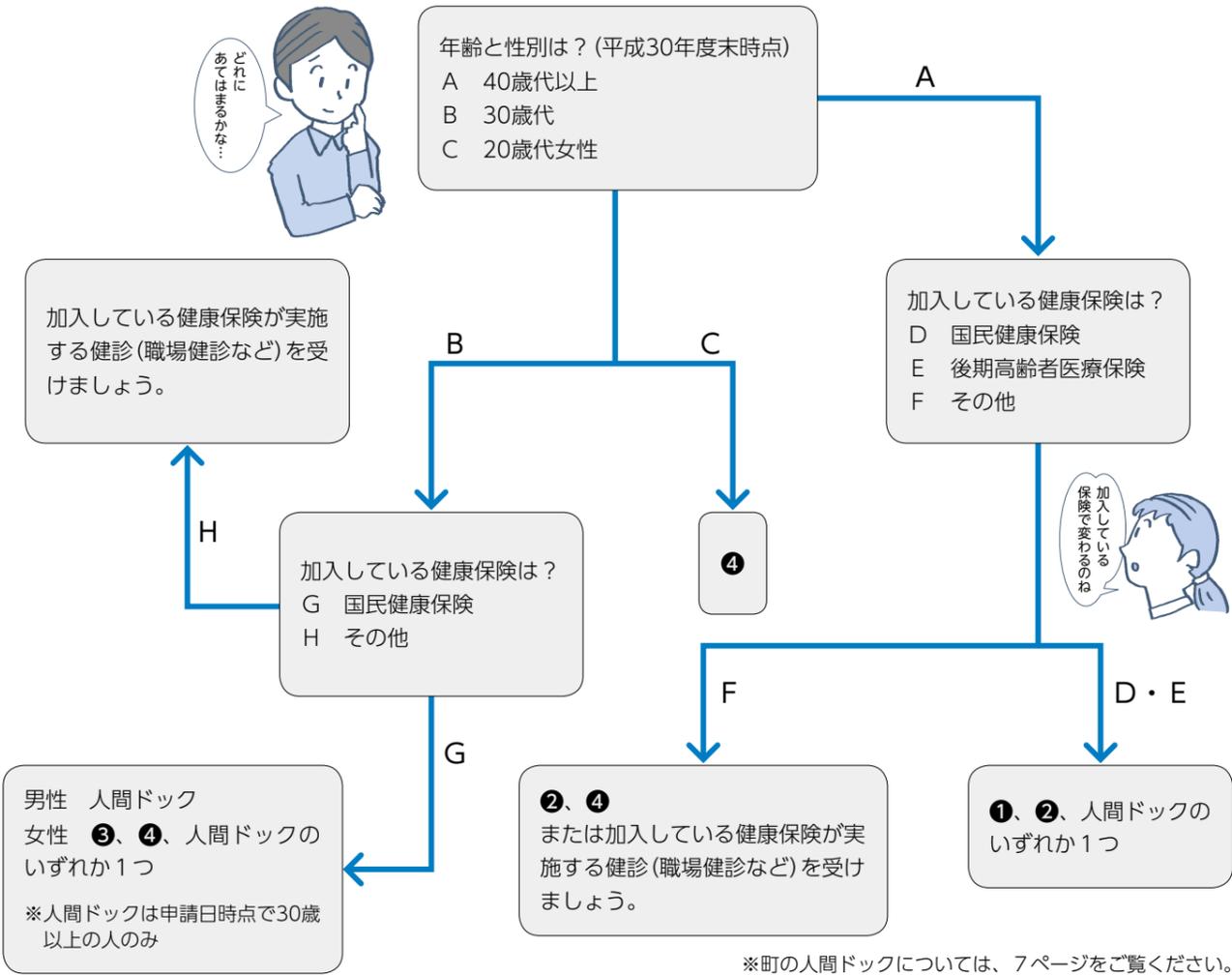


あなたが受けられる健診を確認してみましょう



検診名	概要	申込書発送時期(予定)	実施時期	場所
①総合健診	特定健診や各種がん検診をセットで受ける健診 【項目】特定健診、胃がん・大腸がん・腹部超音波・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん・骨粗しょう症検診	3月ごろ	5月～6月	町の施設(検診車)
②がん複合検診	自分が受けたい項目を選んで受けられる検診 【項目】特定健診(国民健康保険または後期高齢者医療保険加入者のみ)、胃がん・大腸がん・腹部超音波・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん・骨粗しょう症検診	7月ごろ	9月～10月	
③30歳代複合検診	30歳代の女性を対象とした検診 【項目】乳がん・子宮頸がん・骨粗しょう症検診	8月ごろ	11月	
④子宮頸がん検診(医療機関)	町指定の医療機関で受けられる子宮頸がん検診	8月ごろ(20歳代のみ) 他の年代の人は②・③の申込書提出時に○を付けて申し込んでください。	10月～2月	

65歳以上で、町の肺がん検診を受診しなかった人には、10月下旬に肺がん検診の案内を送ります。

料金などの詳細は、3月中旬(予定)に配布する「平成30年度 菊陽町健康カレンダー」をご覧ください

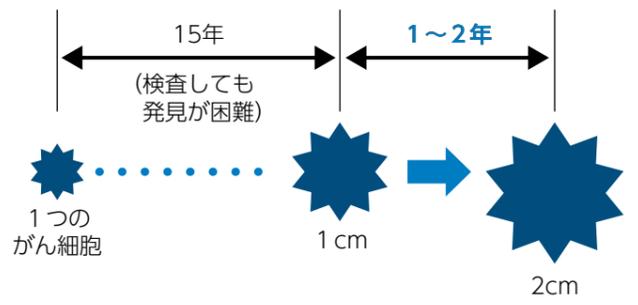


がん検診のすすめ
最後にがん検診を受けたのは何年前？

健康・保険課 保健予防係 ☎(232)4912

菊陽町の死因第1位はがんです。がんは「早期」であれば9割が治るといわれていますが、早期がんの期間は実はとても短いのです。

早期がんを発見できる期間は たったの1～2年

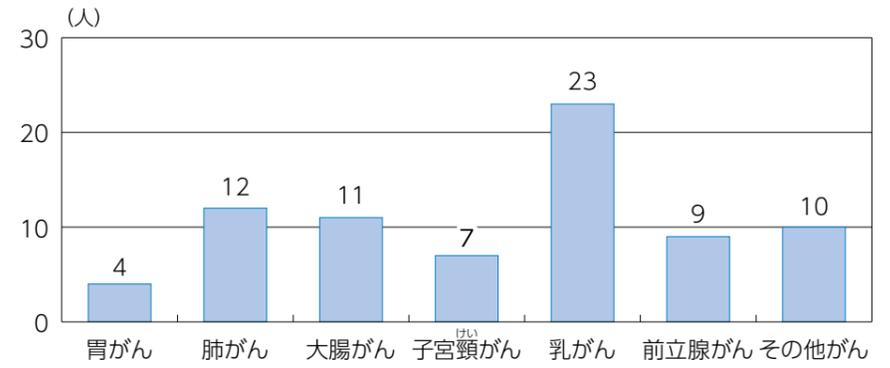


1つの細胞が1センチのがんになるまで、例えば乳がんでは、細胞分裂で30回、15年といった時間がかか

町での検診で見つかったがん
 平成25年度～27年度の町の検診でがんが見つかった人は76人います。特に乳がんは女性のがん罹患率第1位で、本町でも他のがんと比較してとても多いことが分かります。

「要精密検査」と言われたら
 がんやそれ以外の病気に罹患している可能性があるため、詳しい検査をする必要があります。「要精密検査」の場合は、必ず精密検査を受けましょう。検診は受けた後が大事です。

■がん検診で見つかったがんの内訳(H25～27年度：合計76人)



がん検診の基本的な流れ

